

持続可能な社会の実現に向け 脱プラスチックの取り組みをさらに加速します ～空港で使用する手荷物梱包用ビニール袋を削減へ～

- 2050 年度までに資源類の廃棄率ゼロを目指し、10 月 31 日をもって、空港で使用する手荷物梱包用のビニール袋のご提供を終了します。
- これにより、空港物品における使い捨てプラスチック使用量を年間約 94 トン削減します。



手荷物梱包用のビニール袋

ANA グループは中長期環境目標において、資源類の廃棄率を 2030 年度までに 2019 年度比で 70%以上削減、2050 年度までにゼロにすることを目指しています。この環境目標の実現に向けて、2021 年 10 月 31 日をもって、空港で使用する手荷物梱包用のビニール袋のご提供を終了いたします。これにより、空港物品における使い捨てプラスチック使用量を年間で約 94 トン削減します。^{※1} 尚、ベビーカーならびに車いす梱包用のビニール袋は、お客様ご自身の移動手段を保護するため、今後もご提供を継続します。また、車いすについては、リユース可能なカバーも併用します。



リユース可能なカバー(車いす用)

2021 年 11 月に開催される国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議(COP26)を前に、日本をはじめとした世界各国に対し、これまで以上に意欲的な CO2 排出量削減目標の設定が求められる中、ANA グループとしても航空機の運航などによる CO2 排出量の削減に加え、廃棄後の処分時に CO2 排出を伴うプラスチックについても、廃棄量の削減により一層取り組んでまいります。

ANA グループにおけるプラスチック削減に向けたその他の取り組み例：

品目	利用シーン	取り組み	廃棄削減量(※2)
機内食主菜容器	国際線エコノミークラス	植物由来のバガス製に変更	約 617トン
マドラー	機内、空港ラウンジ	木製(FSC 認証※3)に変更	
カトラリー	国際線エコノミークラス	木製(FSC 認証※3)に変更	
ストロー	機内、空港ラウンジ	紙製に変更	
コップのふた	国際線エコノミークラス	紙製に変更	
貨物用防水・防塵用 ビニールシート	貨物の荷積み	使用済みのビニールを回収し、 一部をリサイクル	



植物由来の容器



木製カトラリー



紙製ストロー



貨物用ビニールシート

ANA グループはこれからも、「ANA Future Promise」※4 のスローガンのもと、お客様のご理解とご協力をいただきながら、プラスチックをはじめとした資源類の廃棄量削減に向けた取り組みを推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

※1 ビニール袋の使用枚数を年間約 196 万枚削減します(2019 年度実績に基づき算出)。

※2 2019 年度実績に基づき算出。

※3 FSC® (Forest Stewardship Council®、森林管理協議会)は、責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする独立した非営利組織で、国際的な森林認証制度を運営しています。

※4「ANA Future Promise」について

ANA グループでは、持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指し、「環境(Environment)」、「社会(Social)」、「ガバナンス(Governance)」に配慮した ESG 経営を推進しています。ESG をより身近なものとして活動を推進していくにあたり、「ANA Future Promise」のスローガンのもと、お客様のご理解やご協力をいただきながら ANA グループとしての一体感のある取り組みに発展させ、SDGs の達成を目指します。<https://www.ana.co.jp/ja/jp/topics/ana-future-promise/>